

第4回八戸市体育施設整備検討委員会 議事録

日 時： 令和4年5月26日（木） 午前10時～11時15分

場 所： 八戸市庁本館3階 議会第1委員会室

会場出席委員： 宮腰直幸会長、米内正明副会長、阿部寿一委員、蝦名謙一委員
木村浩哉委員、佐々木敏文委員、鷹野貴子委員、東山国男委員
山内隆委員

オンライン出席委員： 荒木興一委員

欠席委員： なし

事務局： 前田まちづくり文化スポーツ部長
石丸まちづくり文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長
和島スポーツ振興課副参事（スポーツ振興グループリーダー）
田中スポーツ振興課主幹
庭田スポーツ振興課主事

次 第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 審議
八戸市体育館の機能・規模・配置等の検討
4. その他
5. 閉会

次第 1 開会

司 会 本日は、ご多用中のところご出席いただきましてありがとうございます。本日司会を務めさせていただきます、まちづくり文化スポーツ部スポーツ振興課グループリーダーの和島です。よろしく願いいたします。それでは、只今より、第4回八戸市体育施設整備検討委員会を開催いたします。

会議に先立ちまして会議の成立を確認いたします。八戸市体育施設整備検討委員会規則第5条第2項の規定では、半数以上の委員の出席が会議成立の要件となっておりますが、本日は、会場での出席委員9名、オンラインでの出席委員1名であり、委員全員の出席を頂いておりますので、会議が成立することを報告申し上げます。

なお、本日の傍聴者は2名ですのでご報告いたします。本日傍聴される方へお知らせします。当委員会におきましては、傍聴人の発言はできません。また、写真撮影、録音等の行為、その他会議の進行に支障をきたすような言動や行動は慎んでくださるようお願いいたします。

次第 2 会長挨拶

司 会 それでははじめに、宮腰会長からご挨拶いただきたくと存じます。宮腰会長お願いいたします。

会 長 皆様、お集りいただきましてありがとうございます。前回の会議で施設の機能ですとか規模等につきまして、皆さんから貴重な意見をいただきました。今回も引き続きまして、皆様から忌憚ないご意見をいただきたくと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次第 3 審 議

司 会 ありがとうございます。議事に入る前に資料の確認をいたします。本日の資料は、次第、出席者名簿、席図、八戸市体育施設整備検討委員会規則、説明資料でございます。資料の漏れなどはございませんでしょうか。それでは、議事に入りますので、宮腰会長よろしく願いいたします。

会 長 それでは、審議案件「八戸市体育館の機能・規模・配置等について」事務局から説明願います。

事務局 スポーツ振興課の石丸でございます。資料につきましては、私から説明いたします。1ページをお開き願います。まずは、前回の確認事項でございますが、長根公園の建ぺい率につきまして、資料に基づき、ご説明いたします。長根公

園の建ぺい率は、都市公園法に基づく八戸市都市公園及び公園施設の設置に関する基準を定める条例により、定められてございまして、具体的には、第5条により公園施設として、2%、第6条第1項第2号により運動施設のうち主として運動の用に供するものとして、20%、合計22%でございます。次に建築可能面積ですが、長根公園の敷地面積が17万1,300㎡であり、その22%、37,686㎡が建築可能面積となります。次に、現在の施設のうち現時点で廃止を想定している体育館、スポーツ研修センター、市民プール及び屋外スピードスケートリンクを除いた建築面積は約28,807㎡となり、37,686㎡から28,807㎡を引いた8,879㎡が、新たな八戸市体育館と新たなプールをあわせた建築面積となるものでございます。

2ページをお開き願います。続きまして、地質の状況でございます。昭和44年5月に実施いたしました八戸市パイピングスケートリンク地質調査報告書における調査結果でございますが、図のナンバー1から4の4か所において、深度約24m以深のN値が50となつてございまして、この調査からは、八戸市体育館の建て替えについて特に支障はないものと理解してございます。

3ページをお開き願います。八戸市体育館の利用状況でございますが、昨年10月から今年3月までの予約システムにおける予約状況でございます。まず、八戸市体育館の利用に関する基本的な情報でございますが、営業時間は午前9時から午後9時、予約時間は1時間単位、アリーナの全面使用は使用日3か月前から予約可能であり、複数の申し込みの場合は抽選となります。また、アリーナの半面の使用については、1か月前からの予約が可能であり、大会開催等の予約は、年度分の予定を調整の上、先行して予約することが可能でございます。次に、下の表をご覧くださいと存じます。営業時間を分母、予約時間を分子とした予約率でございますが、10月と11月は88%、12月は90%、1月は88%、2月は81%、3月は93%の平均88%でございます。また、抽選率でございますが、こちらは、分母を営業時間とし、分子を抽選となった時間としたもので、10月は1%、11月は2%、12月は9%、1月は13%、2月は5%、3月は20%、平均8%でございます。

4ページをお開き願います。競技団体等の意見による機能・規模の(1)機能・規模の比較でございまして、屋内で行われる、バスケットボール、バレーボール、卓球の市内競技団体からの意見を記載してございます。まず、現在の八戸市体育館の仕様でございますが、面積が1,584㎡、バスケットボールコート換算で2面、高さ14m以上、照度は最大で763ルクス、客席数は2,000席、でございます。対して、八戸市バスケットボール協会様からは、面積は3,990㎡、バスケットボールコート換算で4面、高さ7m以上、照度700ルクスですが、Bリーグホームアリーナ検査要項では、1,400ルクス以上、客席は、協会

様からの意見が5,000席ですが、Bリーグホームアリーナ検査要項では、B2基準で3,000席以上となっております。次に、八戸市バレーボール協会様からは、面積は2,728㎡、高さ12.5m以上、照度1,500ルクス、客席5,000席ですが、Vリーグ機構規約では、照度1,000から1,500ルクス、同ライセンス交付規則では、客席3,000席以上となっております。次に、八戸市卓球協会様からは、面積は1,960㎡、照度2,000ルクス、客席1,000席ですが、Tリーグ規約・規定集・アリーナ要件では、照度1,000ルクス以上、客席2,000から3,000席となっております。

5ページをお開き願います。全国大会レベルの大会開催に必要な機能・規模に関する市内競技団体からの意見でございまして、赤い囲みは、それぞれ、最大値を示してございます。まず、競技場面積は、八戸市バスケットボール協会様の3,990㎡、バスケットボールコート換算で4面、客席数は八戸市バレーボール協会様、八戸市ママさんバレーボール協会様及び八戸市バスケットボール協会様の5,000席、天井高は、八戸市体操協会様の13m、照度は、八戸市卓球協会様の2,000ルクスでございまして、必要な設備として、サブアリーナのところに着目してみますと、八戸市バレーボール協会様、八戸市ママさんバレーボール協会様からはコート換算で2面分、他にも、八戸市バドミントン協会様、八戸市レスリング協会様、八戸市ウェイトリフティング協会様、八戸市銃剣道連盟様、八戸市バスケットボール協会様からも意見をいただいております。参考までに、下の表が青森市のマエダアリーナの仕様でございまして、競技場面積は2,944㎡、バスケットボールコート換算で3面、客席数は3,368席、天井高は14.5mから23.1m、照度が1,000ルクス、バスケットボールコート換算で2面分のサブアリーナがございまして。

6ページをお開き願います。このページに記載の内容は、市内各競技団体からいただきました、市・地区大会レベルの仕様に関する意見になりますので、説明は割愛いたします。

7ページをお開き願います。市内スポーツ施設指定管理者からの仕様に関する意見になりますが、まずは、エスプロモですが、競技場面積は2,400㎡で、バスケットボールコート換算3面、客席数3,000席、天井高18m、照度1,000ルクス、サブアリーナはバスケットボールコート換算で2面、多賀多目的運動場を管理している八戸スポーツ・地域振興グループですが、競技場面積は1,584㎡で、バスケットボールコート換算で2面、客席数2,500席、天井高10m、照度1,000ルクス、サブアリーナはバスケットボールコート換算で1面でございます。

8ページをお開き願います。これまで、説明をいたしました、建ぺい率、八戸市体育館の予約率、そして、市内競技団体からの意見を踏まえ、仕様の案と

いたしまして、まず、競技場のメインアリーナですが、面積約 2,420 m²、バスケットボールコート換算で 3 面、サブアリーナは約 810 m²、バスケットボールコート換算で 1 面、天井高 13m 以上、照度 1,500 ルクスといたしました。なお、メインアリーナとサブアリーナは隣同士とし、大きな大会等の際には、一体的な利用により、バスケットボールコート換算で 4 面を確保することを想定しているものでございまして、大きな大会時のトーナメント等にも十分に対応し得るものと理解してございます。また、体育館とプールですが、一体として配置するか別にするかは今後の検討課題にしたいと存じます。資料の説明の最後になりますが、新八戸市体育館建設想定エリアと記載のある図面をご覧ください。この図面の色塗りの部分が想定エリア、参考までに、新八戸市体育館の概ねの大きさを図面右下に示してございます。

資料の説明につきましては、以上でございます。本日は、委員の皆様からまずは、新たな八戸市体育館の仕様に関する意見、特に、メインアリーナ、サブアリーナの広さに関する意見、照度に関する意見、そして、必要な諸室に関するご意見をいただきたいと存じます。

そして、続きまして、中心市街地等公園外、そして、公園内の他の施設との動線を踏まえた、配置案について、委員各位から意見をお伺いしたいと考えてございます。よろしく願いいたします。

会 長 はい、ありがとうございました。只今、事務局から説明がありましたが、まずは最初に、今お話にありましたように体育館の機能の規模的な、その辺りのほうからご自由にまず意見ありましたらいただきたいと思うのですが、どなたでも結構ですので、お願いいたします。

事務局 まずはメインアリーナ 3 面、サブアリーナ 1 面としたことにつきまして、ご意見がございましたらお伺いしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

会 長 そうですね。競技されている立場の方からまず何かご意見をいただけるとありがたいと思うのですが、いかがでしょう。

委 員 理想的には 4 面、メインアリーナ 4 面があって、トーナメントで各ブロック 4 ブロックから勝ち上がっていくというのが一番理想です。今、最も新しい体育館が確か沖縄アリーナだと思います。どのくらいの収容人数かわかりませんが、ただ知っている範囲では 6 階建てで、メインアリーナ自体もそんな大きくないですね。プレイヤーよりも観客者をいかに入れて盛り上がるかと、もうそういうふうな時代になって来ているような気がします。それで、

20年ぐらい前に東北で一番大きかったのは、確かグランディ 21、セキスイハイムスーパーアリーナです。あそこがバレーコート 6 面。ただそれ以後は、色々な新しい体育館を調べてみますと、メインアリーナはさほどとっていない。観客数を増やすという形になっているようです。やはり、これから八戸は人口減それから当然少子化ですので、財政面も苦しいと思うので、やはり市のほうから提案されているメインアリーナは 3 面で、サブアリーナは 1 面で、競技のほうから言いますと、第 1 シードから第 3 シードまではメインを使って、第 4 シードはサブアリーナを使う。ただサブアリーナに関しては、私の提案は観客席を設ける。百石の体育館あたりがそうなのですけれども、確か階段式ぐらいで 3 段か 4 段ぐらいで、そんなに人数は入らないのですけれども、そこに 1 面ぐらいのものがあると、例えば柔剣道の大会とか、少し小さめの県大会とかぐらいのレベルであれば、レスリングとかそういうような競技は可能ではないかと。空手道とか。そういう形で、あくまでもサブアリーナはメインアリーナに行く補助の大会ではなくて、そこで小さい大会ができるぐらいのそういう体育館が、それぐらいの広さがいいのかなと。ですから、市のこの案で私はいいいのかなと思います。

会 長 はい、ありがとうございます。今メインとサブのことに関してお話がありましたけれども、他の方はいかがでしょうか。大会等に関わられている方、今のご意見に対して何かありましたらお願いしたいのですが。

委 員 今お話を伺って、サブアリーナ 1 面と言われましたけども、やっぱり小さい大会を行う際も 2 面あったほうがメインでもサブでもやれるということで、競技団体 2 グループが行われるようなことも可能にしておいたほうが良いような気もするのですけども、こういうところは考えられませんかということです。

委 員 はい。私もそちらのほうがずっといいと思います。ただ何についても予算の問題とかそういうことを考えると、最初に言いましたけどもこれから少子化になって人口減になった場合に財政面で厳しいのではないかなと。そういう意味で 1 面という提案でした。それはもう 2 面があって観覧席も両面に観覧席があってとなるぐらいの規模であればそれはベターだと思いますけども、それは先ほどの提案のサブアリーナ観客席は片面だけでもあればいいのかなというぐらいのレベルの話をしました。

事務局 今の話ですけれども、何を基にメイン 3 面サブは 1 面ということなのです

けども、資料の 3 ページの予約率、いわゆる利用率ということになるのですけども、現状の八戸市体育館がメインしかなくて 2 面で使っています。10 月から 3 月とした理由、予約システムが稼働していた期間ということもあるのですけども、夏より冬の体育館の方が混みあうのです。なぜかという、ソフトテニスだとか夏場に外でやってきたものの練習、大会が中に入ってくるので 10 月から 3 月の方が混むのです。この 10 月から 3 月の予約率を見て確かに高いですけども、その下の抽選率のところご覧いただいて、特に 10 月から 2 月はそんなに予約が重複しているわけではないのです。ですからメインが 3 面サブ 1 面といっても今の広さでいうと倍になりますので、十分に市民の皆様のニーズを満たすことが可能なのかなというふうに考えているものでございます。確かに大きければ大きいほど大きな大会の際には良いというのは十分私共理解していますけども、●●委員のほうからお話があった通り、維持運営にかかる経費だとか、建設にかかる経費だとか、普段の利用率そういうものを考えた上でメイン 3 面サブ 1 面というふうに案を提案させていただいたところでございます。以上です。

会 長

はい、ありがとうございます。一般的な使用に関してはそうすると適正なコート数であるというふうに事務局のほうではお考えだというようなご意見かと思えます。そうしましたら●●委員のスポーツ少年団の関係ということもありまして、何か大会等を運営する上での今のメイン 3 面サブ 1 面ということに関しまして、ご意見でございますでしょうか。何かあればお聞かせいただきたいのですが。

委 員

はい。スポーツ少年団では、小学生ですけども主に体育館を利用するというのは、バスケットボール・バレーボール・卓球がメインになるのですが、事務局案のコート数で、スポーツ少年団体、また各種小学生スポーツ各団の大会などには支障がないものと考えます。ただ、スポーツ少年団以外に色々なスポーツに取り組んでいる子どもたちがいるわけで、前回の資料では、例えば武道館の機能は体育館への機能集約を検討するとか、そこらへんの他の武道館のほうで、この体育館のほうに機能するようになるのかどうかとか、あと市民の目線でいくと、今現在かなり利用されているのがそれこそトレーニング室です。そちらのほうの機能をここの体育館の、新体育館のほうに集約されていくのかというあたりは、今後の検討課題かなと思いました。以上です。

会 長

ありがとうございます。事務局は何か今のことに関してありますでしょうか。

事務局 まずトレーニング室については、当然体育館の中に整備することを想定してございます。柔剣道場、後は武道館にレスリング場というふうにあるのですが、そちらを体育館の中に集約するかどうかというのは、競技団体側と今協議中ではございまして、全て今武道館にあるレスリング場、柔剣道場、八戸市体育館の中に入れるかどうかということまで決定していないという状況でございます。ただ想定とすると、少なくとも柔剣道場は体育館の中に入れることが必要なのかなと事務局では考えてございます。以上でございます。

会 長 はい、ありがとうございます。そうしましたら、●●委員に中体連関連でお願いしたいと思います。

委 員 事務局の考案を見させて頂いて、メイン3面、あとサブが1面となる場合の規模とすると今の青森の体育館とほぼ同等かなというふうなことで考えておりました。あの面積ですと十分市内で中体連の大会するうえでは、今、体育館のほうはバレー、バスケと卓球競技の3種目で回しているのですが、また生徒減ということでチーム数もだいぶ減ってきております。そういった中では十分大会運営としては、支障がなくできるのかなと思っておりました。また県大会のほうもコロナ禍のこういう状態から実は大会を縮小というふうなことで、従来ですと地区2チーム、20チーム最大でやっていたのですが、昨年度から16チームないし12チームということで、令和5年度からは最大で16チーム、また令和8年度からは、10地区、今6地区に分けて、いわゆる八戸と三八で合同開催ということで進んでおりますので、そういった中では十分、機能的には大会等は出来るのかなということでは思っておりました。

会 長 はい、ありがとうございます。すいません、私はそれ以上大会等の関連を把握しておりませんが、どなたかまだ他にご意見ございましたら、お願いしたいのですが、よろしいですか。確認が1つあったのですが、メインとサブということで、皆さんから意見がありまして、いわゆる一体利用も可能であれば、仕切って利用することも可能だと。その際にサブのほうだけで大会をとという話があったのですが、実際に2つの大会が同時に運営されることとか、そういったことはどのくらいあるのでしょうか。

事務局 はい。現在どのくらいあるかというと、現在は一体的にしかなくて、2つの大会が同時に行われているケースではなくて、ただ青森市のマエダアリーナですが、どのくらいあるか分からないのですが、片方で剣道の大会をやっている片方でバスケの大会をやっているということは当然あり得ま

す。以上です。

会 長 分かりました。そうすると 2 つ仕切って両方でそれぞれ何か使えるような大会規模の運営ができるようなことを用意しておく必要があるということ。

事務局 はい。

会 長 はい。わかりました。ほかよろしいでしょうか。はい、お願いします。

委 員 はい、その時にマエダアリーナでの経験で、サブには客席がありません。先ほど●●委員がおっしゃったように、サブに客席を簡易的なものでもいいので客席を設けるっていうのは大賛成です。マエダアリーナはサブに待っている選手さえ入れなくて、ちょっと大変です。そういったことを考えると新しい大会にサブに客席ができると大変利用しやすいのではないかなと思います。

会 長 はい、ありがとうございます。そうしましたら、まずコート面の面数等の話が今出ましたけども、他に提案の中で高さとか照度とかの話ありましたけれどもこちらは。

事務局 はい、高さは特に問題にならないと考えていて、意見が分かれたのが照度の問題。明るさですね。これについても競技されている方からちょっとお話いただければなど。確かにBリーグだとかVリーグの場合ですと 1500 ルクスとあって求められているのですけれども、普段練習するときにはそこまで照度を上げないです。せいぜい今、八戸市体育館で確かなことではないのですけれども、500 ルクスは切っているはずで、400 ルクス以下だと思います。それで大会の時、国体クラスでいうと 750 ルクスあると十分で、今八戸市体育館なんかで十分なのです。提案では 1500 ルクスとさせていただきましたけれども、そのことについてご意見いただきたいと思います。

委 員 BリーグそれからVリーグ等をできる照度を最大限にしておいて、それであとは高校中学校その他の大会の時は照度を下げるという形でよろしいのではないかと思います。

事務局 ありがとうございます。

会 長 ほかいかがでしょうか。特にご意見はございませんか。

委 員 今フロアの話をしてはいますけれども、ステージ等はどういうふうに考えていますか。

事務局 今の段階でステージをどうこうということは具体的に事務局で検討してなくて、この後皆様の方から資料5ページに基づく諸室の案ですか、各競技団体から色々出ていますけれども、ここの諸室、どのような諸室が必要か、照度の話が終わった後に様々なご意見を頂きたいなと思っております。以上でございます。

委 員 はい、分かりました。

会 長 そうしましたら照度の話、他はよろしいですか。はい、では今事務局から話がありましたように5ページの資料にもありますが、いわゆる諸室のことに關しましてご意見を頂きたいと思います。更に今の話よろしいですか。

委 員 私は、今の体育館を建設している状況を見ていますと、ステージが無い体育館が、結構、公的体育館が増えています。マエダアリーナもステージがありません。それにグランディ 21、セキスイハイムスーパーアリーナも無いです。もう20年ぐらい前からないです。あとはさいたまスーパーアリーナもないと思います。もうステージは簡易的なものをその大会のときには出すとか、それから設置するというような形で、ステージは今いろいろやり方が、例えばメインのところにステージを造ったり、そういう形の状況になってきたりしているので、かえって今のような現体育館のようにステージを付けるよりは、また違う活用の仕方ができるのではないかなとそういうふうに思います。沖縄アリーナは確かすり鉢状で、全体から見下ろすという形の体育館みたいですし、その他もそういうふうな造りになってきているようですので、それでステージはいいのではないかなとそういうふうに思っていました。

会 長 ありがとうございます。ほか、今ちょうどステージの話が出ましたので、その辺りの近辺のところでは何かご意見はございますでしょうか。

事務局 すいません、事務局からだったのですけれども、必要な設備でこういう部屋は必ずあったほうが良いですというものがあれば、運営側の視点からあとイベント等の開催するそういうふうな視点から、このような諸室が必ずあった

ほうが良いというのがあればお知らせ頂きたいと思います。以上でございます。

委員

私ばかりですみません、普段無口なのですけれども。今日だけは燃えて話したいと思います。世の中の流れというか、その体育館の施設というのはやはりするプレイヤーだけの体育館ではなくて、もうこの頃は観るプロ野球のような形で、そのプレーを観ながらビールを飲んだり、何かものを食べたりというような雰囲気になってきています。私のような昭和生まれの人間は不謹慎だというか、そういう気持ちもあるのですけれども、世の流れがそうです。それでやっぱり経済効果のことを考えたりして、私はいくら体育館が小さくなくても大型モニター、よく B リーグそれからアイスホッケーもそうです、フラットアリーナ、それから Y S アリーナにもあります大型モニター、あれはやはり必要ではないかなと。映像からと、映像効果それから音響効果、これはあつたほうが良いと思います。それと、やはりフードコートです。プロ野球を観に行ったりしてもそうですけれども。それからワゴン形式のフードコートにそういうのを置いたり、応援グッズを置いたりというものを出来るような設置できるぐらいのスペースをある程度取っておかないと、V リーグが来た、それから B リーグが来たというときに、急にもう場所が無いとか、あと外に造ろうかとか、テント張ろうかとか、そういうふうになった場合に今度は気候もあります。それから色んな状況を見ると、何かそういうのも必要じゃないかなと。座って観るだけではなくて、名前があまり好きではないのですけれども VIP ROOM というか、そういうふうなガラス張りでなくてもいいのですけれども、そういう部屋があつて、そこからでも観られて食事をしたりというようなスペースもあつたり、そうなってくると、どんどん、キッズコーナーとかそういうようなところも出てきて、やはり子どもを連れて来ながら大会を観戦するというふうなことを後から後付けにできるものと出来ないものがあると思うので、その辺を考えていった方が良いのかなと、そういうように思います。

会長

ありがとうございます。今のご意見に足してもいいですし、ほかのところでもいいですからなにかございましたらお願いしたいのですが。一つ確認なのですが、体育館ということで当然体育系のことをメインに考えていますけれども、体育以外のことでの活用というのはどのようなものがありますかね。

事務局

現時点で考えているのは貸館としての色々な催し物です。コンサートだったり格闘系のイベントその他もろもろ、あとは e スポーツ系のものだったりというものを想定していますけど、私もそんなに若くないので、もっともつと

いろいろなものがあるのかも知れません。皆さんももし何かありましたら、教えていただきたいと思います。以上でございます。

会 長 はい。そうすると今もちろん体育館です。体育施設がメインですけども、他のことも含めてこうしたものがというのがございましたら、ご意見お願いしたいのです。

委 員 バリアフリーというか、段差のないことも考えたほうがよろしいのではないかなと思います。

委 員 過去に V リーグの運営に携わったことがあるのですが、その時はセンターコート一面で試合が行われる訳なのですが、その時に客席をフロアにマットを敷いてパイプ椅子を並べた訳なのですが、他の都市から来たお客さん方に言われたこととして、その時は同じ平面状にパイプ椅子が並んでいますので、2列目以降の人たちがあまり試合を快適にみることができないということで、なんで階段状になっていないのだという形でご意見をいただいたことがあります。かなり難しいとは思うのですが、体育館施設としてそういうふうなプロの試合も想定したことを考えていくのであれば、フロアでの観客席というのを想定しておいたほうがいいのかと思っています。市街地にあるフラットアリーナが日本の中でも結構、地方としては素晴らしい施設というふうに言われていますけれども、やはりプロの試合を八戸に行って開催するときの、観客席の在り方ということも考えたほうがいいのかと思っていました。以上です。

会 長 はい、ありがとうございます。そうしましたら今二つバリアフリーの話と観客席の話が出ておりますけども、どちらでもいいですが何かありましたら。バリアフリーの感じでしたら●●委員何かご意見ありますか。急に振って申し訳ないですが、何かありましたらよろしくお願いします。

委 員 実際、障がい者であれば車いすだけでなく、杖の方、それから車いすも電動と様々あります。確かにバリアフリーは必要です。ただその時にも細かい話になってくると、床の滑りにくいものとか、そういう手すりにしろ、様々なことをこれから考えていかなきゃいけないとならないとは思っています。今私たちのスポーツであればフライングディスクなど様々あって、そのほかにポッチャも今、講習を受けて様々やっているから、そういう関係では、明るさもありますが、ポッチャをやるには床の反射の少ないものとか、そういうふうな考え

や、これから細かいところが出てくると思います。今大きく考えるのであれば車いすでも十分入って、障がい者が利用できる、エレベーターもそうでしょうけども、自分で回転出来るというような格好のほうが。これから細かいところに行くと思うのですが、その時になるまでユニバーサルデザイン、障がい者のための誰でも使える、誰でも使用出来るようなシステムを考えていかなければならないと思います。今の時点で考えられるのであれば、この体育館であればある程度のものはこなせるかなと思っています。案としては悪いことではなく良い方に向かっているなどはと思っています。以上です。

会 長 はい、ありがとうございます。そうしましたらほか、観客席の話がありましたけども観客席に関して何かありましたらお願いしたいのですけれども。

事務局 すみません。わたくしからですけれども、貴重なご意見ありがとうございます。ユニバーサルデザインの話に関しては当然のことであると伺っておりましたので、実際に使用者目線に立ったものについて考えていきたいなと思います。あとですね、●●委員からいただいたアリーナでの観客席の件だったのですが、参考までにフラット八戸の中のフラットアリーナですが、あそこは運営する側が雛段を持ってきているのですね。あと B リーグの青森ワッツの試合を東体育館でやる際、あとはフラットアリーナでもやったのですが、運営する側で用意しております。ですから、頻度とか費用対効果など考えてどちらが用意するかということを今後検討してまいりたいと考えております。以上でございます。

会 長 はい、ありがとうございます。そうしましたらほかのところですけども、体育館そのものばかりでなく、まわりの諸室がございますが、今やられているところ以外に何かそういったものがあつたらよいというような機能がありましたらお願いしたいのですが。

委 員 いくつかあるのですが、今の客席の件でYSアリーナの建築途中でこういう声があがったのですけれども、現在もう完成して客席の稼働率はものすごく低いです。結局大会の時には客席は使いますけれども、日常的には客席が使えない状態であるのですよ。それは設計、設備上強度の関係もあるでしょうし、その時に移動客席っていうことをちょっと検討されたのですが、設計とか強度の関係でああなったのでしょうかけれども、今の近代建築で、あの客席のスペースを例えばフラット状態になって、体操くらいの動きはできるとか、YSアリーナのホワイエのブースのように、小さいブースが並んでちょっとし

た会議はできるとか、何か新たに開発された設計法ってないのかなっていうのが一つあります。おそらく●●委員からも出た、今ステージがなくてすり鉢状でもアリーナがステージとなって様々なイベントを開催する、大型ビジョンを使って、っていうふうになってきていると考えると、まあ客席はかなり準備されますよね。今の段階で無理だったらしょうがないのだけれども、なんか近代的な設備がそこにあるのかなというのがある一つですね。あと●●委員から様々なVIP室だとか大型ビジョンとか出ましたけれども、大型ビジョンについては、もう八戸の体育館でeスポーツを開催するかどうか、そこを考えているかどうか、eスポーツとなるともう健常者もハンディを持っている人もフェアにプレーできるようになってきています。かなりの集客をあげられる。そこを大型ビジョンと、あと今YSアリーナで日本、世界から様々な大会要請が来ているときに、プロジェクションマッピングができないことにちょっと壁があります。どうかプロジェクションマッピングだとかもこれから将来的に演出できる。建物は小さくても演出でどうにかカバーできるっていうようなそんな機能を検討していただければなど。あとは障害スポーツが様々な話題になっています。誰もができるスポーツだとか、使い方ってなってくると、ママさんとかご高齢の方たちも使える体育館とかってなっていくと、キッズスペースが必要かなと。YSアリーナでちょっとマットみたいなものを置いているキッズスペースがあるのですけれども、あれだけでも高評価です。ここにはあるのですねっていう声が聞こえます。ですからキッズスペースをご検討願いたいことと、あと今はキッチンカーの時代なのかなと。イベントをやる時にそれぞれの事業者が自分の車で来てキッチンカーが並んで、フード提供ができる。キッチンカースペースみたいなものもご検討願えればなどと思いました。あとは会議室ですけれども、日常的に先ほど事務局からご説明いただきましたけれども、貸すことができる施設。YSアリーナは今10の会議室と大きな会議室がありますけれども、すごい評判がいいです。ですからスポーツイベントをやっていないなくても、会議室がたくさんあるので、文化的な活動だとかカルチャー的な活動だとか、そういった方々が利用できる、日常的にたくさんの住民が出入りできる施設になっていくといいのではないかなと思います。たくさん申しましたがすみません。

会 長

はい、ありがとうございます。いろんなご意見随分とありましたが、恐らく客席のことに関しては皆さんなされている中で、いわゆる固定した客席という施設が場合によっては重荷になる可能性というのが大分指摘されていると思います。ですから固定の客席とそれからいわゆる移動型といいますか、簡易的に組み立てるのか、それともしまっただけなのか分かりませんが、そ

うしたものの比率をまずは考える必要があるということが皆さんの意見の大きなところかなというふうに感じました。それから確かにキッズスペースというのか、そうした設備というのが非常に必要かなというふうに感じております。いくつか複数でのご意見がありましたけども、非常にこれから重要な視点だと思います。あと、まとめているわけではないのですが今いろいろちょっと考えることがありますので、そうしたeスポーツの話がありまして、他にもVリーグとかの話がありましたがいわゆる放送系ですね、通信系のものというのをどう考えるかというのも今後は結構重要かなと。特にいわゆるプレーする側ではなく、それを見せるという話もかなり大きな要素だと思います。ここで放送室とかというふうな形で部屋の名前が出てきていますが、その放送の中身がいわゆるただのテレビ中継、それから解説のような方が入る場所なのか、もっとeスポーツの場合は恐らく他の物が大分必要になってくるところなんですけど、そうした物を扱えるような場所なのかということでもちょっとその辺りがいわゆる名称ではなく中身の機能として検討がいるのかなというふうに思いました。あとキッチンカーの話が今出ましたけども、この後に配置の話が出てくると思うのですが、今回の会議の中ではいわゆる外側までは扱わないことになっていますので、直接キッチンカーのスペース云々ということとは言えないと思うのですが、ただそうしたことが必要であるということはこの会議の中でも指摘しておくことはできるかと思いますので、それも記録をしておいていただければと思います。そうしましたらほか、まず今後の配置の話をしようと思いますが、施設の件に関して何かございました。はい、お願いします。

委員 次の時で結構なんですけど、スポーツ研修センターを廃止するよということで、私ら時々会議でYSアリーナの会議室やスポーツ研修センターの会議室なんかも利用させていただいています。それで多分同じこの長根公園にあるのであれば、そういうのは共有して、効率よく会議室を使っていけばいいのかなと思っているのです。そういう意味でこれまでのスポーツ研修センターやYSアリーナでの会議室の稼働率みたいなのを後で教えてください。

事務局 分かりました。今日は用意がないので、次回ご説明します。

委員 結構利用されています。YSアリーナの多目的室もそれから大会議室もまずほとんど利用させていただいています。どうぞよろしく願いいたします。

委員 多分スポーツ大会とか、またいろいろと使うのだろうなと思うので。

委員 各企業での研修とかそういうのにも使われていますし、各協議団体の総会だけではなくて、いろんな面で使われています。

委員 すみません。もう1点だけ。以前の会議で防災拠点になる体育館ということのお話もあったかと思います。まず津波のハザードマップが改定されて、今各地区で説明会が行われているのですが、なのでここはハザードマップ上安全な地域にはなっているので、やはり防災拠点という考えも必要になってくるかなと思っていました。そうした際に防災用の備蓄用品を置く物も作るのかとか、あるいは大規模停電に備えたそういうふうな太陽光発電とかそういうものを考えていくのかというような、防災に関わる観点も今後考えていく必要があるのかなと思いました。以上です。

委員 先ほど、●●委員からYSアリーナの大きな会議室の説明がちょっとありましたけれども、大会を運営する側で大変助かっているのは、小さな会議室が10あります。そこは選手の控室、更衣室になります。数が多いので大変運営しやすい、楽にそしてトラブルなく、あとはこういった感染防止とかの点でも非常に進めやすい。会議室がたくさんあると、そんなメリットもありました。

会長 はい、ありがとうございます、会議室というか、多目的に利用できる小スペースがたくさんあるというのは、いいということですね。ほかございますか。

委員 いいですか、ここで言うのはちょっとあれかなと思うのですが、プールの必要性ということ、ちょっと考えてみてですね、八戸には南部山それから南郷のプール、それから民間ではヤクルトスイミングスクールなどがありますけれども、青森とか弘前辺りは、プールはどのぐらいの数があるのですか。

事務局 スペックとか民間のところまではちょっと分からなかったのですが、青森県、県有施設でいきますと、県総合運動公園に室内プール25m8レーンのものが一つ。屋外の50mプールが一つ、の2か所ですね。青森市、市が保有しているスポーツ施設としては一般プール、25mプール公認が一つと、屋外のプールが一つの2か所です。弘前市なので、合併した関係もあって各町村のプールもあるということで数が多かったと思うのですが、5か所ありましてそのうち2か所が屋内プール、外のプールが3か所なのですが、そのひとつはレジャープールですね。競泳用ではないレジャープールの計5か所とい

うところになっております。

事務局

あと、私のほうからですね。公認プールということで、競技団体が必要とする公認プールということですが、この公認プールが日本水泳連盟で基準を設けていて公認しているものなのですけれども、県内に8か所ございます。うち2か所が八戸でそのうちのひとつが八戸の市民プールの50m、屋外ですね。県内に50mプールというか公認プールって屋外の2か所しかありません。現在県営の屋内の50mのプールを整備中、県が整備中でございます。残りですね、あと八戸市のヤクルトのプールが公認ですね。青森市には2か所あって市営とヤクルトですね、これも。あとは平川市、鱒ヶ沢町、六ヶ所村というふうに県内8か所。うち現時点で市民プール、50mの市民プールを入れて八戸市内に2か所でございます。以上でございます。

委員

私は維持費の問題、その他考えてプールが現状まず南部山と南郷にあるわけですからいいのではないかなと思います。体育館の中にプールを作るという、そういうふうな何というか、そこまではよろしいのではないかなと個人的に思っております。確か南部山のプールはタッチ板を入れると確か25mないのですね。ですからもしどうしても25m必要という形になるとちょっと工事をして、5cmですか、タッチ板分を工事してという形のほうが市の予算面としてはいいのではないかなと、その他の競技団体が33ぐらいあるわけですから、まるっきり何もない競技団体、そういうふうな団体は使いたくてもそういうふうな施設すらないところもあるわけですから、というふうに個人的に考えております。

会長

はい、ありがとうございます。プールの話が出ましたのでプールのことに関して何かご意見ありますでしょうか。もしもプールをつくるとなった場合に配置も絡んできますが、いわゆる別棟になるのかそれとも一体になるのかという風な話もありますし、そもそもプールが要るかどうかというふうな話もあろうかと思いますが、何かご意見ありましたらお願いします。

事務局

この件は非常に事務局としても悩ましいところでして、●●委員がおっしゃるように南部山の公認は今のままだと取れないですね。大規模改修が必要になってくるというもでございますので、まだまだ事務局としても検討が必要だなというふうに考えてございます。ただ、本日委員の皆さまからこのプールに関しても忌憚のないご意見いただければそれを参考に今後事務局の中でも検討を進めてまいりたいと思っておりますし、ご意見については頂ければ幸いです。

ざいます。以上でございます。

委員 すいません。●●委員と同じ普段は大人しいのですが、今日なんか度々すみません。50年後もこの体育館はおそらく利用されていますよね。50年後の子どもたちに何を残せるかということを考えて、予算の関係もあります、設備的なバランスもあります。水が入るってことは建物の強度に物凄く影響します。そういったこともあります。ただ、水泳って子どもの育成期に物凄く大きい影響を与えるのですよね。今までは学校の中で、もう足元がヌルヌルするような更衣室で、子どもたちは否応なしに着替えたのですけれども、でもそんなよろしくない環境の中でいかに自分たちが早く着替えるかとか、その水に入るってことがすごく成長に大きな効果を表すのですよね。漠然のことしか言わなくてすみませんけども。水泳をした年としない年でも子どもたちの感じが違います。成長した様子が違います。ですので、どうか、長い目で子どもたちのためにどうかご検討をしていただきたいと思います。

委員 はい。今のお話に対してですけど、別に喧嘩している訳じゃないですけど、今の話の中の内容からいくと、それは学校の体育、学校には各学校にプールがあるわけですから、それで可能でないかな。もう1つは民間のヤクルトスイミングスクールがあるわけですから、そちらでもやはり企業の方でも頑張ってもらって、より古くなればまた新しいプールを作るのかなということも期待して、やはり持ちつ持たれつという訳じゃないのですけども、全て公営のプールだけじゃなく民間にも頑張ってもらえればと、そういう経済効果のことを考えての私の発言です。以上です。

委員 また次の時に調べてもらえればなって思っています。個人的に技術屋でもないのによくわからないのですけれども、ここは軟弱地盤で支持層まで距離があるという中で、もし全国のよその体育館で、要はプールと体育館が一体化になって、たとえばプールが半地下で要はコンクリートの壁で体育館ができたときに同じ建物の中で、半地下の下はプールで上には普通に体育館があつてとか、そういうモデル的なものがもし自治体さんとかありそうであれば、そういうのも教えていただければと思います。

事務局 承知しました。参考までに私の知っている範囲なのですが、県営のマエダアリーナですけども、立体的なのですけど別棟にあつて通路で繋がっているタイプとかですね。ちょっと調べて次に回答させていただきます、以上です。

会 長 建築をやっている身なのでちょっとだけ知っているものと言いますか、最近見たもので言いますと、東京の方の小学校で街中にあるものに関しては、建物の 6 階ぐらいの中にプールがあるというところもありましたので、建物の中にプール自体を入れるということは無理ではないです。ただ水が入りますので相当重量がかかりますね。それで、今地盤のことに関してN値が出ていましたけども、これがプールの重量にまで耐えられるかどうかというのはちょっとわからないです。建設のことから考えますと、工事を一回にやったほうが安くあがりますのと、設備も当然体育館と一体で使えますので、建設費的には一体にしたほうが、それから運営も別棟よりは 1 つにまとめてしまったほうが管理はしやすいかと思います。あとは、何分重量とあと水があるので、それが漏れると言いますか、万が一そうなったときのことを考えると、一体がいかどうかもちょっと検討かなというふうに思います。知っている限りはそうなります。

 他はございますでしょうか。プール自体を作るかどうかというところも今後の検討だとは思いますが、何かございましたらお願いしたいと思います。

 そうしましたらあと次は全体の配置等ですね。

事務局 はい。若干補足説明をさせていただきたいのですが、資料のこちらのものをご覧いただきたいと思います。現時点で、この配置についてこの会議で決めるという事は考えてございません。中心市街地だったりとか散策、公園内の散策、散歩だったり、あとは運動する上でその動線等を考えた上で、どのあたりにどっち側を向いているといいのではないかというような忌憚のないご意見を本日はいただきたいと考えてございます。以上でございます。

会 長 はい、ではこの配置等に関しましてご意見をいただきたいのですが、●●委員、商工会等の方から何か見方としてご意見ありますでしょうか。

委 員 ちょっと、具体的にどっちを向いた方がいいと言われてもわからないと思いますが、例えば、今、体育館について議論していると私は理解しているのですが、今までの意見を色々聞くと、体育館以外の使い方も想定されるというような形も出てきました。そうした場合に、じゃあどういうものを体育以外の活用を考えているのかによって色々ここへ来られる方の年齢層とかそういうことも色々考えないといけないと思いますし、そういう人達が対象になった場合には、この中心街を通ってもらえるような活性化に繋がるような位置づけを考えたいなどは思いますけども、いきなり今、それを言われても、え

っという感じしか出ないです。

会 長 すみません。今おっしゃっていただいたようなことは、一つの観点のところになろうかなと思うのです。

委 員 その周りも、どのような整備するかということも含めて考慮しないと、向きまではちょっと分からないなという感じですね。

委 員 これを見て北はどちらになりますか。上ですか。

事務局 真上が北です。

委 員 その体育館を建てる位置によってですが、今の野球場のライト側しか出入口がないですよ。大きい大会をやって、たとえば大型バスや乗用車を乗りいれると、結局、中体連の開会式もそうなのですが、やった後、はけるのに凄く時間がかかる。交通渋滞が発生してとか。例えばこの東北電力側のところの出入り口が使えるようになるのか、もしくは今の東北電力側から行って、売市とあと体育館の分かれるYの字のところに道路が可能なのかというふうなところも含めて、多分一か所だときつくなるのではないかなというところがちょっとあります。今までのその大きい大会をやったときは野球とぶつかった時とか物凄い車の量ですね。その辺がまずYSアリーナの方から抜ける道が可能かどうかということも含めて、あと駐車場の確保の問題もあるかと思えます、はい。以上でございます。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。近年コロナの関係もあって無観客で長根の大会を開催しているという事もあって、YS アリーナ八戸が出来てから何かが重なって劇的にその混雑が生じた状態にあまりなっていないということもあります。今週末、高校野球の春季大会の準決勝、決勝とかありますので、それだとか様々重なった時の交通状況を見ながら、関係の部署とも話し合いながら、この件はまた皆さまに我々の方で提案を差し上げてご検討いただきたいなと考えてございます。以上でございます。

会 長 はい、そうしましたら、今話していらっしやいました交通の件というのは、当然配置には大きく影響を与えてくると思えますが、事務局からそうした情報といいますか、それを頂きながらまた考えたいと思えます。他の何処の場所と言うよりも、この配置に関しまして何かご意見といたしましうか、

そうしたものでありましたらお願いしたいと思います。当然向きまでというのは、さすがに無理ですね。お願いします。

委員 動線についてお話したいと思います。公園全体の配置とも関係すると思うのですが、前回の会議で、●●委員からトレーニングルームを一階にしてほしいという要望がありました。それについて私も賛成したいと思います。と申しますのは、今現在でも公園内をジョギング、散歩している人たちを数多く見かけます。トレーニングルームを一階にして、そこにランニングステーション機能を設けて頂ければ。ランニングステーション機能というのは、具体的にロッカーとシャワーですね。そうしますと、皇居のあたりに行ったことがあるのですが、ランニングサークルが沢山あってコミュニティが出来て、走ってそのあとサークル内で色々話をして、そういう風なものが、シャワーを浴びたり荷物を預けたりした後ですね。色んなところで市民の皆さんが楽しむ姿を見ることが出来るのではないかなという風に思いました。ジョギングコースに付きましては、これから公園緑地関係との委員会もありますので、ここでは話にはならないと思うのですが、一つの有機的な結合ということをお願いしたいと思います。以上です。

会長 今の話は、若干先ほどの機能のところにも絡んでくる部分かと思いますが、そうしたような機能もやはり建物の特に一階部分にあればいいという風なことです。ほか何かございますでしょうか。配置に関しまして、ありましたらお願いしたいのですが。

次第 4 その他

会長 よろしいですか。そうしましたら、今日は機能、規模、配置等ということなのですが、戻りまして、もしも全体に何かございましたら、ご意見を頂きたいのですが。そのほかでも構いませんので、何かございますでしょうか。よろしいですか。もしもあと事務局に何か次回までに調査をお願いしたいものがありましたら、させて頂ければと思います。よろしいでしょうか。そうしましたら、様々なご意見ありがとうございました。今日いただきました意見に関しましては事務局の方に次回までに整理をお願いしたいと思います。皆さんからもよろしいですか。よければ今日の審議を終了したいと思いますので、事務局にお返しをいたします。

次第 5 閉 会

司 会

ありがとうございました。次回の会議ですが、皆様にお伝えをしておりますとおり7月20日を予定しております。すでに皆様からご出席のご連絡をいただいておりますが、どうぞよろしく願いいたします。以上をもちまして、第4回八戸市体育施設整備検討委員会を終了いたします。長時間にわたり、ありがとうございました。